

## 普及活動情勢報告（令和8年4月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

### 高知県にぴったりの米を決めよう！ ～水稻奨励品種決定試験の開始～



田植えを行う普及員

4月6日、普及所は、奨励品種決定試験ほとして、J A高知市の職員と試験品種の‘高育85号’、‘高育86号’、‘高育87号’、‘高育89号’、対照品種の‘フクヒカリ’、‘よさ恋美人’などを植え付けました。

今後は生育・収量調査を行ない、試験の途中経過及び結果を現地検討会や研修会等で報告する予定です。

普及所は、今後も産地に適応した品種の選定と普及に取り組んでいきます。

### 新たなメンバーで新規就農者を支援 ～J A高知県春野新規就農者支援チーム会～



今年度のチーム員

4月16日、J A高知県春野営農経済センターで新規就農者支援チーム会を開催し、関係機関16名が参加しました。

普及所は会の開催支援や当日の進行を務めました。

チーム会では、新規就農者や研修生の状況を関係機関と共有するとともに、今年度の活動計画を協議し、農業会議主催の産地ツアーを春野で開催することを決定しました。また、今年度は、8月から研修生1名が独立・自営就農し、2名が指導農業士のもとで実践研修を開始する予定です。

今後も関係機関が一体となり、春野キュウリ産地の維持・強化に向けて、新規就農者の確保・育成に取り組んでいきます。

### ハウスショウガの収量・品質向上 ～J A高知県春野生姜部会目慣らし会の開催～



目慣らし会

4月16日、J A高知県春野生姜部会は目慣らし会を開催し、生産者16名が参加しました。

普及所からは、貯蔵中に発生する病害や病気以外の腐りについて説明しました。

参加者からは「種根茎が感染したらどうしたら良いか」「切り口から腐敗することが多かった」との声がありました。

普及所は今後もJ Aと連携し、産地の生産力向上に向けて取り組んでいきます。

ユズの隔年結果を減らそう！ ～高知市土佐山柚子生産組合総会・研修会～



研修会の様子

4月17日、高知市土佐山地区で、高知市土佐山柚子生産組合の総会・研修会が開催され、生産者37名、JA、ユズ果汁・果皮販売企業、高知市、高知農業改良普及所が参加しました。

各機関から情報提供が行われ、普及所からは、ユズの隔年結果の原因と対策、施肥や土づくりの先行事例や早期収穫に関する実証結果について情報を共有しました。

参加者からは「施肥はどのタイミングで行うとよいか？」などの質問があり、隔年結果解消に向けた関心の高さが伺えました。

今後も普及所ではJA、市と連携し、産地における連年安定生産に向けた支援に取り組んでいきます。